

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

疑問との出会い～タンポポ～／社会福祉法人長尾会 長尾保育園

春の園庭にはいろいろな草木の花が咲いていて、魅力的な環境になっています。ある日、タンポポの綿毛がたくさん咲いていて、みんなで飛ばして遊んでいると、「黄色い花がなぜ綿毛になるのか」という疑問が出てきました。どの園でも見られるような場面でのこの疑問に対して、この事例では、保育者も一緒に考えていこうという姿勢で保育をしています。子どもたちには、どのような変容が見られたでしょうか？



○ 「芽が出てー！！」5歳児

✦ これ飛ばへん！！／4月下旬（キーワード…興味・発見・疑問）

ある日、子どもたちが土手一面に咲いているタンポポの花を見つけたことをきっかけに不思議が始まった。

- Aちゃん：「先生、これ飛ばへん…。何で？」
保育者：「種がくっ付いてるんやわ」
Aちゃん：「これ種？」
保育者：「そうやで」
Bちゃん：「なあ、先生、黄色の花が何で綿になるん？」
保育者：「そうやなあ…」
Cちゃん：「変身するんかなあ？」



タンポポの綿毛をみんなで飛ばして遊んだが、なかなか飛ばない綿毛があった。子どもから疑問の声があがり、どうしてなのかを考えるチャンスでありながら、保育者がつい「種」と言ってしまった。また、「黄色い花がなぜ綿毛になるのか」の疑問もあがった。保育者としては、それが当たり前だと思って過ごしていたので、子どもに聞かれてすぐに答えられず、子どもの疑問って驚くことも多いなと感じた。この疑問に対して保育者も一緒に考えていこうと思った。

✦ 綿になってる！！／5月中旬（キーワード…疑問・探求・共有）

登園途中にAちゃんが、摘んできたタンポポを、みんなで観察できるように、見やすい場所に置くことにした。

- Dちゃん：「先生きれいやなあ」
保育者：「そうやなあ」
Aちゃん：「これ、綿になるんかなあ？」 「どうやって黄色から白色になるんやろう？」

毎日水を替えては、のぞきこんでいた子どもたち。変化もすぐに出ないので、何回も枯れたのではないかと諦める姿も見られていた。変化を見て欲しくて子どもたちには期待をもてるような声かけをし、根気よく観察をし続けた。



Aちゃん：「先生、もう枯れたんちゃう？」
Eちゃん：「先が黒くなってるもん」
保育者：「どうなんかなあ？もうちょっと様子見てみひん？」

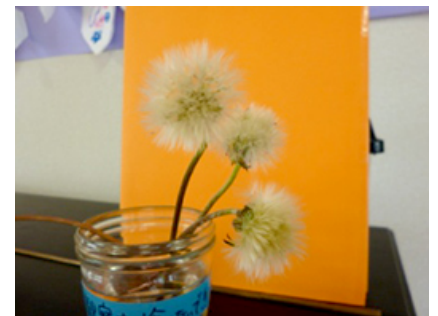
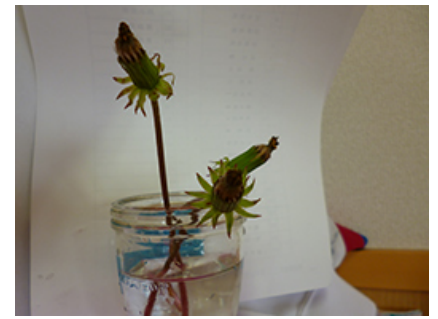
花は、何日も閉じたままであった。

Aちゃん「まだ綿にならんかな？」
保育者は、「枯れたらどうしよう…」と言う思いで見守った。

数日が経ち

Bちゃん：「先生、何か先っちょ白くなってる！」
保育者：「ほんまやなあ、よう気付いたなあ」
Aちゃん：「なあなあ、綿になってるんちゃう？」
少し綿が見えた時から、子どもたちも期待が高まり待ち続けていた。
Bちゃん：「先生、何か先っちょ白くなってるで」
保育者：「ほんまやなあ、よう気付いたなあ」
Aちゃん：「なあなあ、綿になってるんちゃう？」
Aちゃん：「先生、先生、見て綿になってる！！」
保育者：「いやあ、3つともなってるやん」
Aちゃん：「また、フーって飛ばそう」

綿毛になるととても喜んでいて。黄色い花が綿になるという原理は分からなかったのだが、タンポポが綿毛になる所を子どもたちと一緒に見ることができて良かった。また、子どもたちが根気よく観察をし続け、結果が目で確認できて良かった。



✦ 種から芽が出るの？／5月下旬 （キーワード…興味・発見・疑問）

子どもたちの、もう一つの疑問「綿毛の先に付いているのは本当に種なのか？」を確かめることにした。綿毛の先についていた物が本当に種なのかを確かめるために、子どもたちがいつでも見られるようにと脱脂綿の上に乗せ、身近な場所に置いて観察をした。

Aちゃん：「水もあるし大丈夫やろう」
Bちゃん：「ほんまに芽が出るんかなあ？」
Cちゃん：「芽がでるといいなあ」

さらに数日経ち

タンポポの種からは芽が出ず枯れてしまった…。

Fちゃん：「枯れちゃったなあ。水あげすぎたんかなあ？」
保育者：「どうなんかなあ…」
Fちゃん：「先生、種は土に植えた方がいいんちゃう？」
保育者：「そうやなあ…」

数日たっても、変化は見られなかった。子どもたちは、毎日霧吹きで種に水やりをするなど、自主的に行動する姿が見られた。しかし、努力もむなしく、タンポポの種は枯れてしまった。残念であったが、なぜ駄目だったのか、次はどうしたら良いのか子どもたち自身が考えるようになってきた。その後、他の種との出会いで、子どもたちには、また面白い疑問が生まれた。その疑問を一つずつみんなで、確かめていくことにより、保育者も子どもと共に楽しんで夢中になっていた。



無断転載を禁ず。引用する場合は下記を必ず明記願います。

「(C)公益財団法人 ソニー教育財団

ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」